

【理学部】令和6年度 FD活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

教員と学生の距離が近く、教員1名あたりの担当学生数が少ない（少人数）教育であることが理学部の大きな長所であり、特徴である。この特徴を活かして、学生と教員がともに学ぶ場（外部講師を招聘したタイムリーな話題提供、および、その背景についての本学教員による事前レクチャーなど）を通じて、学生と教員の一体感の醸成をはかるなど、「学ぶ」ということに対する姿勢をどう伝えるか、といった点についても検討を進めて行く必要がある。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：

公開授業・関連ワークショップの深化

(2) 目的：

従来の公開授業では教授法の教員間での共有やカリキュラム改善が主なテーマとなっていたが、それらに加えて、主体となるべき学生のマインドを醸成することもワークショップ（公開授業を含めて）の目的として捉えなおし、ワークショップの充実・深化をはかる。

(3) 期待する効果：

学生が主体的に学ぶことを意識し、学習者本位の教育がより効果を発揮できるような意識の醸成を期待する。学習成果実感調査の回答率向上や、授業の事前・事後学習の時間確保には、学生自身の意識改革が必須である。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

公開授業

- ・実施日時：令和6年6月12日（水）2限目
- ・場所：万有館4階 B405 教室
- ・科目名：量子力学B
- ・担当教員名：山縣 淳子 教授
- ・科目選定理由：公開授業の後、ワークショップを開催することを考慮した曜日時限において、物理科学科の中で要となる科目の中から今までの公開授業の実績状況を鑑み選定した。

ワークショップ

- ・実施日時・場所：上記公開授業終了後
- ・実施内容：公開授業を参観した際の「気づき」を交換することで、授業者の振り返りの機会とするとともに、参加教員同士の交流を通して、自らの教授法を振り返る機会とする。特に、新任教員については、原則として参加を義務付ける。また学生にも参加を呼びかけて授業に関する意見交流を行うことで、学生の生の声を拾う機会とするほか、学生が自ら学ぶことを主体的にとらえる意識を醸成することを目的とする。

とする。

(2) その他研修会等：

※ (1) 以外の学部 FD として実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

・実施日時・場所：万有館内教室

・実施内容：

以下を候補として、詳細を検討中。

- ✓ 教学マネジメントに関する FD ワークショップ（アセスメントを中心に）
- ✓ 進路支援の現実と学生への意識付けに関する研修会（進路・就職支援センター）
- ✓ 近年増加傾向にある障がいのある学生への対応についての研修会
- ✓ ハラスメント防止を含む学生との距離の取り方の研修会

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。